

西 ～にし～

Good News 特集号

■町田総合高等学校「コロナ禍における基礎看護実習の取組」

本校では開校当初から、総合学科高校として生徒の希望進路の実現や興味・関心に合わせた多様な授業を展開しています。例年、看護師を目指す生徒が一定数おり、看護系進学を受験に関する講座以外にも「基礎看護実習」の授業を通して看護に関する興味・関心を広げています。

コロナ禍で実習内容が制限される中、特別専門講師の日高始子先生が担当する「基礎看護実習」では、感染症対策を講じた上で実習に取り組んでいます。6月29日（火）の授業では、ディスポーザブルガウンとビニール手袋の着脱実習を行いました。手袋を着脱する活動では、汚物に見立てた少量のマヨネーズが手につかないように手袋を外し、安全に廃棄する方法を学びました。マヨネーズのにおいを新型コロナウイルスの拡散状況に見立て、においを封じ込めることで飛沫感染をどのように防止するのかを疑似体験することができました。

新型コロナウイルス等の目に見えない敵との戦いには常に備えが必要です。実習を通して感染症対策を学べたことは、看護以外にも介護や災害時にも役立つ学びとなりました。

（副校長・園部 直美、主任教諭・明石 直諭）



感染症対策ガウンの着用



感染を防止する手袋の外し方



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468